謹賀新年

皆様、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

日ごろより本町の教育振興に多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

「町づくりは人づくり」との基本理念を基に変化の激しい多様化した社会の中にあって、近年は、確かな見通しと主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の育成が求められており、**「今金町の子ども達は、今金町民の手で育んでいく」**との共通理念のもとに本年も各種の事業の推進に努めてまいる所存であります。

教育基本法の改正は、家庭や地域も含めた社会全体の教育力を結集しようとするもので、子ども達に最大限の教育機会を与え、人間としての基盤づくりを手助けすることが求められています。そのためには学校、家庭、地域社会が連携しながらお互いの教育力を高めていくような循環的機能が必要なことから、地域の教育力の結集にも努めてまいります。

一人ひとりが生涯のいつでも、どこでも自由に学習機会を選択し、豊かに文化やスポーツに親しみ、学んだ成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に努めてまいります。

また、すべての基本となる食育食農教育は、今金町の食育キャッチフレーズである**「うれしいな　おいしいたべもの　ありがとう」**の精神を基本に安心安全な地場産物の提供に取り組んでまいります。

結びに、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今金町教育委員会
教育長　中島　光弘

「親子でMy箸づくり体験」が開催されました

今金小学校ＰＴＡと今金町学校給食食育推進・地産地消プロジェクト委員会が連携して開催した「親子でMy箸づくり体験」が11月30日（日）、今金小学校において開催されました。

この事業は、今金小学校ＰＴＡ会員と児童を対象者として「正しい箸の持ち方」や「食事マナー」などの食育が保護者を通して家庭に広がることを期待し、家庭における実践に結びつけてもらうという趣旨の下開催されたものです。

当日は、福井県の箸メーカー「兵左衛門（ひょうざえもん）」の中道久次さんが講師として招かれ、午前の部と午後の部合わせて約100人が参加しました。中道さんは箸の語源が「鳥がくちばしでついばむ姿に似ている」「人と食べ物を結ぶ橋である」などの説があることや食文化が異なる国では形や素材が異なることを紹介したり、正しい箸の持ち方を指導しました。材料にはプロ野球選手の使用済みバットをリサイクルしたものを使用し、参加者は各々に合った長さにのこぎりで切断し、ポスターカラーやマニキュアなどで思い思いの色付けをしていました。色付けされた箸は「兵左衛門」に一度持ち帰り、使える箸になるよう加工を施し、完成品を各家庭に送付する予定です。


◀小さなのこぎりを使った作業


◀中道さんによる指導